

再処理工場が発生が予想されるトラブル等とその対応 (No.1-40)

件名	気送中の分析試料容器の詰まりによる気送不能																					
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 分析建屋: 気送設備</p> <p>(2) 設備の概要 工程の溶液等の分析を行う設備の一部で、分析用の試料を採取する容器を試料採取場所へ気送(受信側を真空引きし、空気の力で配管内の容器を吸引して移送)する装置。</p> <p>(3) 発生の状況 気送設備による分析試料容器の移送運転中</p> <p>(4) 概要 気送設備内での分析試料容器の詰まりにより気送が不能となり、詰まり箇所周辺エリアで線量上昇の可能性があることを示すジャグ停止警報が発報。 *他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p> <p>(5) 原因 運転を継続することで発生する詰まり(予め対応手順を定めている)</p>																					
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 分析試料容器の詰まりは通過検知器で検知し、詰まった箇所を通る気送を中止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。なお、分析試料容器の詰まりにより分析ができない工程については、処理を一時的に停止するため、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 分析試料容器が気送設備内で停止した場合はジャグ停止警報が発報し、周辺にいる作業員は速やかに退避するため、作業員への影響は生じない。また、停止した分析試料容器の取り出し作業に当たっては、定められた放射線管理計画書に従って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響が生じる。 分析試料容器の詰まりに伴い、詰まり箇所を通る分析試料の気送が一時的に停止するため、気送経路を変更すること試料を気送できない箇所の場合、工程の運転に影響を生じる。</p>																					
対応の概要	<p>(1) 通過検知器により気送設備内の分析試料容器の詰まり箇所を確認する。</p> <p>(2) 定められた作業手順に従い気送管の逆引きを行い、詰まり解除を行う。</p> <p>(3) 逆引きで解除できない時は、定められた作業手順に従って、気送管を取り外し、分析試料容器を取り出す。</p> <p>(4) 気送管を取り付けた後、空の分析試料容器を気送して詰まることなく気送できることを確認する。</p> <p>(5) 定められた操作手順に従い運転を再開する。</p>																					
公表区分*1	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)																					
情報区分*1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="2">運転情報</th> </tr> <tr> <th>A情報</th> <th>B情報</th> <th>C情報</th> <th>ごく軽度な機器故障</th> <th>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</th> <th>不適合等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					トラブル情報			運転情報		A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等						
トラブル情報			運転情報																			
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等																	

事象概要

復旧方法

清掃や調整により復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

影響の範囲の設備を停止して復旧

*1 'A情報':安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、'B情報':事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、'C情報':A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象